

自然への回帰—異素材と加工材を用いた衣服—

6番 石井ゆかり

制作意図

人間生活の歴史を見てみると手作業だったものが機械作業に移り変わり、近年IT産業などの科学技術が急激に進化を遂げる大きな変動が見られる。このように世の中は技術・物質面では大きく飛躍し豊かになったと言えるかと思う。しかし、人の心は満たされ豊かになったとは言えるのだろうか。

科学技術の進歩により地球環境が侵され、また、人間の肉体的・精神的にも冒されているかと思われる。この現代社会の流れの中で、私たちはいかに生きるべきかを服装デザインを通して表現しようと思った。

制作過程

デザインコンセプト

テーマ設定

資料収集 イメージ展開

スタイル画制作

パターン制作 素材決定

材料購入

裁断

仮縫い

補正

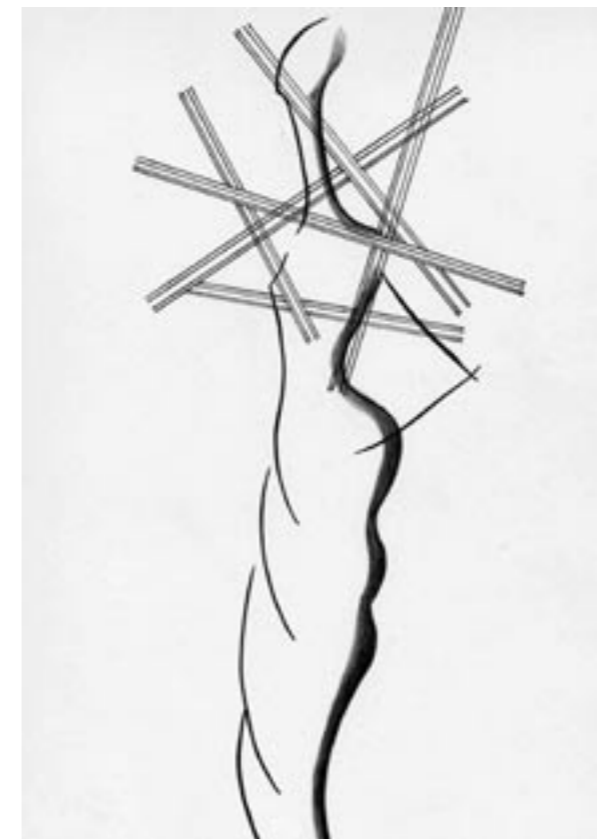
本縫い

仕上げ

STYLE1 科学進歩の影響による自然破壊や人間性の欠如、また、束縛・拘束をイメージしたデザイン。

STYLE2 古典文化に立ち戻ろうとしてつくられたエンパイアスタイルを部分的に取り入れ、天然繊維である木綿を使い自然を表現した。ティアードスカートにして布地の自然の流れをだし軽快さを表現した。

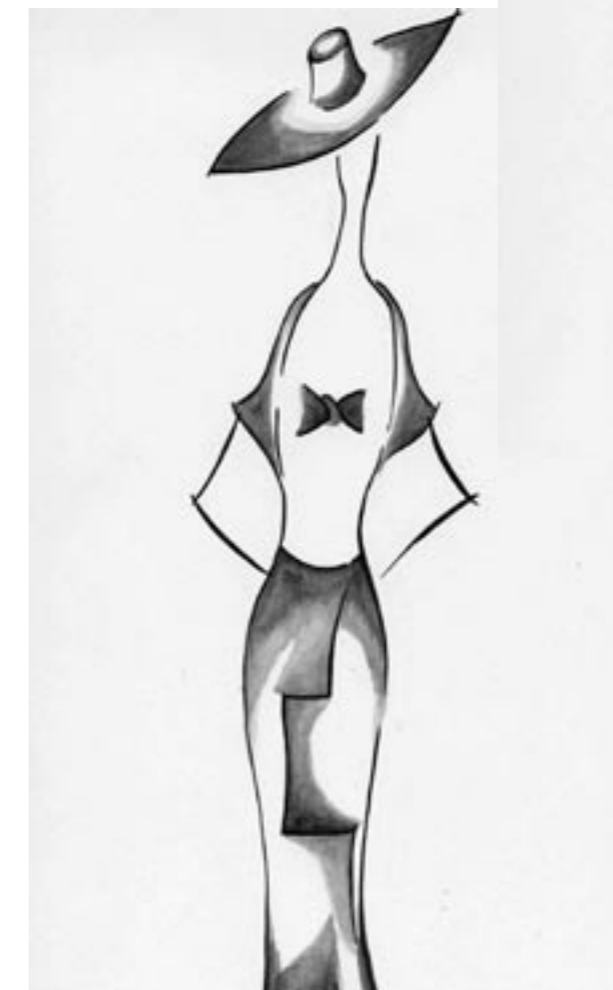
STYLE3 素材に麻を使い、スカートはパッチワークにし、その上に一部布を重ね、裁ち目のままにしてピュアで素朴な感じをだした。



STYLE1



STYLE2



STYLE3

考察・感想

自分が思い描くイメージを絵に描くのは簡単に出来るが、実際服装で表現するのは難しいということも、今回の卒研を通して本当に考えさせられ、勉強になった。制作した三つの服装デザインの中でも、特にSTYLE1の覆う素材選びにイメージ通りの素材が見つからず、四苦八苦しした。

しかしいざ三体完成してみると大きな達成感があり、卒研で得たこれらの経験を生かして次のステップへとつなげ、どんどん突き進めるようこれから更に頑張りたいと思う。